

調査日

平成22年12月17日

	湖沼名	水温	PH	電気伝導率 $\mu s/cm$
1	深見池	9.3	7.4	139
2	見串ヶ谷池	9.4	7.4	235
3	梶ヶ谷東池	6.2	7.6	259
4	山田ノ池	8.1	7.5	188
5	唐木ヶ谷池	10.3	7.5	325
6	中田東ノ谷池	9.5	7.3	239
7	勝佐新池	8.6	7.6	211
8	朝生ヶ谷池	9.5	7.5	167
9	瀬ヶ谷池	9.6	7.4	194
10	一の谷池	10.2	7.5	168
11	文中東池	9.2	7.5	250
12	岩地新池	8.6	7.7	254
13	丹野谷池	7.7	7.8	236
14	射矢ヶ谷池	8.6	7.6	277
15	牛蒡ヶ谷池	9.1	7.1	215
16	東沢池	9.0	7.2	309
17	瓢の池	9.0	7.0	175
18	小雀ヶ谷池	9.8	6.8	294
19	山田ヶ谷池	8.1	6.9	155
20	塩ノ段池	8.7	7.5	532

用語解説

PH（水素イオン濃度）

酸性、アルカリ性を示す指標。7が中性で、数値が小さいほど強い酸性、数値が大きいほど強いアルカリ性を示す。特別な場合を除き、河川の表流水は7付近にあり、海水は8.2付近とややアルカリ性になっているのが普通である。

電気伝導率

電気の通しやすさの尺度。水中に分解している物質の量を短時間で測定できる。高い値ほど、水にさまざまな物質が溶解していることになり、一般的には汚い水といえる。

湖沼の水質変化、酸性化は、水の成分により引き起こされる。主要な陰イオンとしては、塩素イオン・硝酸イオン・硫酸イオン・重炭酸イオン等があげられ、各イオンの量により電気伝導率が決まる。塩素イオン・硝酸イオン・硫酸イオンについては、生活系排水・工場廃水・肥料の流出等の人為的な汚染として発生する。